

宇都宮大学国際学部 公開セミナー

脱炭素社会づくりと市民参加を考えるー「欧州気候市民会議」に学ぶー

(トピックス：ストラスブルグのLRT)

柳下 正治 氏 (一般社団法人 環境政策対話研究所 代表理事)

日時：2021年7月19日(月) 12:40-14:00

脱炭素社会作りは、これまでの化石燃料文明を根本から変える必要があります。それには、専門家や行政に任せるのではなく、市民が将来社会づくりの政策にいかに関わるか、またその実践に向けていかに参画するかが重要です。フランスの典型的な事例に学びます。



講師略歴： 1971年厚生省入省。1977年から環境庁(省)。89-92年、97-99年に温暖化政策形成に携わる。名古屋大学大学院教授(2001年～)を経て、2005年より上智大学大学院教授(環境政策専攻)。循環型社会、低炭素社会、エネルギー政策を対象として、市民参加型の政策形成に関する社会実証型研究を推進。2012年夏のエネルギー・環境戦略に関わる国民的議論において、討論型世論調査の場の設営に関与。2015年、環境政策対話研究所を設立、代表理事に就任。

会場：ZOOM ミーティングルーム

(お申し込み頂いた方に2日前までに、E-Mailでお知らせします。)

参加費：無料

参加申込：右のQRコードもしくは以下のアドレスよりお申込み下さい。

[<https://forms.gle/ctWVWFtjvYfjZgd8>] (先着100名まで(一般))

申込〆切：2021年7月14日(水)



企画運営：環境と国際社会(基盤)・環境と国際協力演習 合同授業

uu.3s project (UU Student SDGs Solution Project)

後援：宇都宮大学国際学部附属多文化公共圏センター

問合せ：〒321-8505 宇都宮市峰町350 宇都宮大学国際学部

高橋若菜研究室 (takahashioffice.uu@gmail.com)